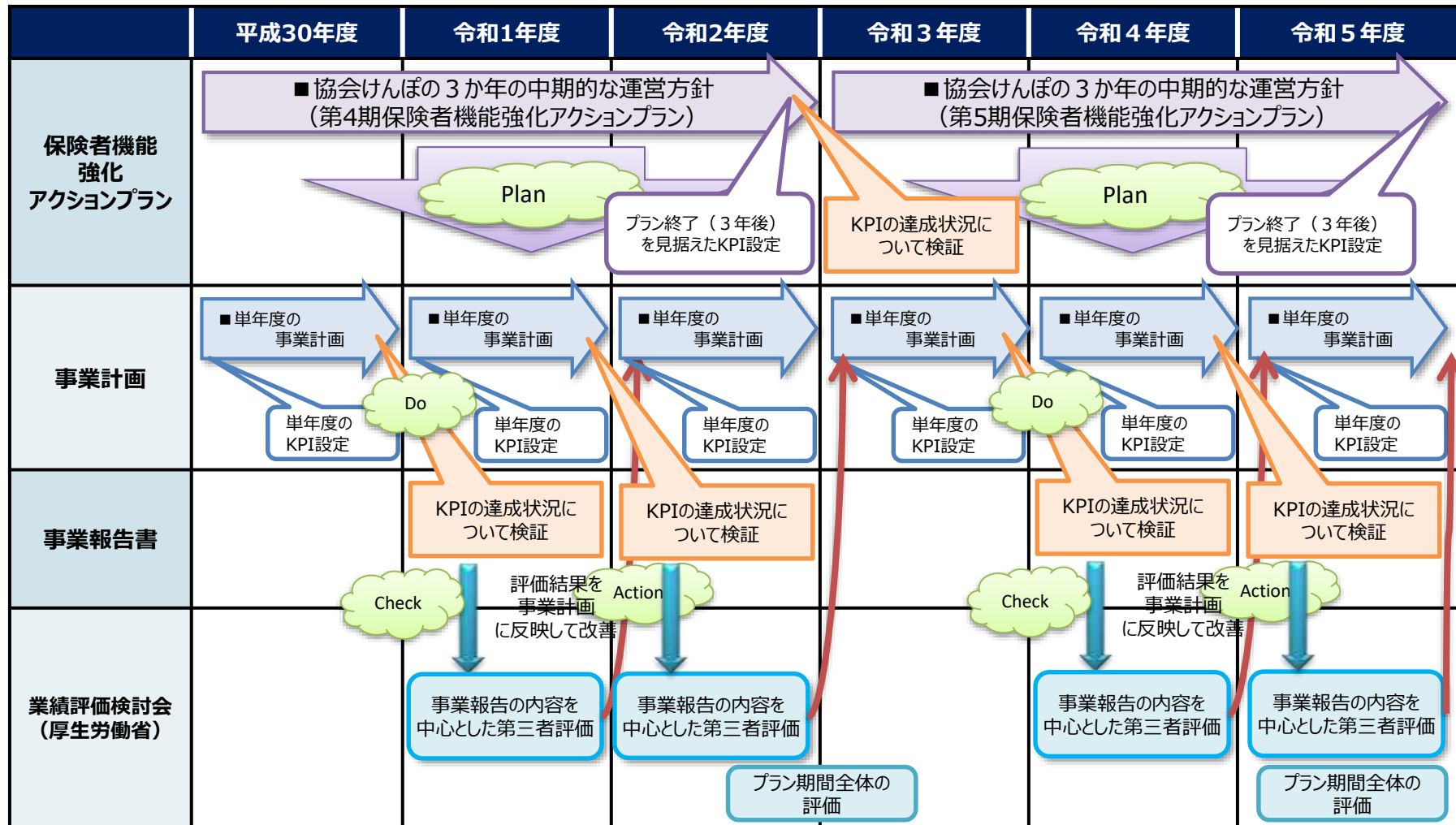


令和3年度奈良支部事業計画骨子(案)と 保険者機能強化予算について

(1) 事業計画の考え方

- 第4期保険者機能強化アクションプランから中期計画として明確に位置付けてKPIを設定するとともに、それを踏まえた単年度事業計画の策定や評価を通じた改善を行うことにより、PDCAサイクルの強化を図っている。
- 令和3年度をスタートとする第5期保険者機能強化アクションプランについても、3か年計画のアクションプランを中期計画として、PDCAサイクルの中で単年度事業計画を策定及び評価を行っていく。



(2) 令和2年度事業計画進捗状況

令和2年度事業概要と直近動向

基盤的保険者機能関係

- ① 「山崩し方式」の定着化により、継続的な職員の多能化推進
- ② 債権に関してスケジュールに沿った催告の着実な実施
- ③ サービス向上を目的とした「郵送化」「限度額適用認定証」の推進
- ④ コロナ禍における加入者に対するサービス維持(給付、保険証発行等)

戦略的保険者機能関係

- ① コロナ禍における活動可能な範囲での縮小事業運営
- ② 手法を変更した健康経営普及促進への取り組み
- ③ 健康保険委員委嘱拡大及び保健事業への取り組み推進のための事業所訪問
- ④ 事業所訪問及び新たな広報手段による支部最重要課題であるジェネリック医薬品推進

組織・運営体制

- ① 標準人員に基づき人的資源の最適配分
- ② 若手職員のジョブローテーションによる業務処理力の底上げ
- ③ コンプライアンス、個人情報保護、情報セキュリティ等の意識づけ向上

事務処理誤り

- ① 9月に「レセプト請求先変更誤り」が1件発生

課題

1	健診受診率が低位	特に生活習慣病予防健診の受診率が47.2%(43位)と低い。
2	ジェネリック医薬品の使用率が低位	全国ワースト2位。大規模医療機関の使用率が低く、院内処方率が高い。
3	協会事業に関する理解度が低い	理解度調査5項目中3項目が全国平均より低い(保険料、現金給付、協会けんぽの取組等)。
4	健康経営の更なる推進	「職場まるごと健康宣言」(令和2年スタート)事業所の増加と、宣言事業所へのサポート。

(3) 令和2年上期KPI進捗状況

[KPI(Key Performance Indicator)] = 重点業績評価指標

項目	年度目標	上期目標	上期進捗状況	達成状況	
1	生活習慣病予防健診受診率	51.8%以上	28.4%	19.9%(9月末推計)	(未達成)
2	事業者健診データ取得率	14.5%以上	1.7%	2.0%(9月末推計)	達成
3	被扶養者特定健診受診率	31.5%以上	21.8%	4.8%(9月末推計)	(未達成)
4	特定保健指導実施率	20.8%以上	10.4%	9.6%(9月末推計)	(未達成)
5	受診勧奨後3ヵ月以内の医療機関受診率	12.9%以上	12.9%	—	—
6	加入者理解率	46.3%以上	—	—	—
7	健康保険委員カバー率	50.0%以上	49.0%	49.2%(9月末推計)	達成
8	ジェネリック医薬品使用割合	75.6%以上	74.4%	73.1%(5月診療分)	(未達成)
9	地域医療構想調整会議参加率	100%	100%	100%(9月末)	達成
10	意見発信	実施する	—	—	—
11	レセプト査定率(基金合算)	0.341%以上	0.341%以上	0.313%(6末)	(未達成)
12	柔道整復療養費申請(多部位・頻回)	昨年度以下(0.78%)	0.80%以下	1.00%(7末)	(未達成)
13	喪失後1ヵ月以内保険証回収率	95.0%以上	95.0%	90.93%(7末)	(未達成)
14	喪失後受診債権回収率	90.14%以上	90.14%	25.15%(7末)	(未達成)
15	医療給付費中の喪失後受診割合	0.296%以下	0.296%	0.048%(7末)	達成
16	サービススタンダード	100%	100%	100%(9末)	達成
17	申請に係る郵送化率	92.0%以上	92.0%	93.0%(8末)	達成
18	限度額認定証使用割合	86.0%以上	86.0%	82.0%(6末)	(未達成)
19	被扶養者資格再確認提出率	92.0%以上	—	—	—
20	オンライン資格確認USB利用率	72.2%以上	72.2%	76.0%(8末)	達成
21	一者応札案件割合	20.0%以上	20.0%	0%(9末)	達成

(4) 令和3年度基本方針

令和3年度の基本方針

1. 保険者機能強化予算の効果的活用による事業構築

- ・予算:42,916千円(令和2年度同額/医療費適正化:10,259千円・保健事業:32,657千円)の効果的な活用
- ・第5期アクションプラン初年度のKPI達成に向けた事業構築

2. 山崩し体制の定着化及び外部委託化による効果的な戦略的保険者機能業務の推進

- ・現金給付の適正化及び効果的な債権回収推進等のための職員の多能化
- ・外部委託先を活用した職員の戦略的保険者機能業務の更なる推進
- ・業務改善、サービス水準の向上

3. 行政・三師会・経済団体等関係先との更なる連携

- ・商工会議所等経済団体及び協力事業者との連携による健康経営普及促進
- ・県及び医師会、歯科医師会、薬剤師会等との更なる連携による医療費適正化推進

4. 事業所(重点事業所・健診機関・医療関係先等)訪問活動の継続と拡大

- ・各種事業(保健事業、ジェネリック等)に対する影響度の高い事業所を優先とした継続的な協力依頼訪問活動
- ・インセンティブ制度を軸に各種事業に対する理解度向上

5. ターゲット別広報推進とプレスリリースの定例化による発信力の強化

- ・事業主向け、加入者向けを明確にした効果的な広報媒体の活用
- ・2ヵ月に一度のプレスリリースの定例化による情報発信力の強化

(5) 保険者機能強化予算事業

保険者機能強化予算設置の背景

- ✓ 高齢化の進展を見据えた社会保障費節減という観点、健康づくりに対する国民の関心の高まり等も背景に、**各保険者には、医療費の適正化や加入者の健康増進を図ること等がこれまで以上に期待**されている。
- ✓ 協会けんぽは47都道府県全てに支部を持ち、**地域の実情に応じたきめ細やかな取り組みを展開できることが最大の強み**である。
- ✓ **各支部が地域性を踏まえた独自の取り組みを意欲的に行うことで、基盤的保険者機能や戦略的保険者機能を一層発揮**できるよう、令和元年度より支部保険者機能強化予算が創設された。
- ✓ 協会は「加入者及び事業主の皆様の意見に基づく自主自律の運営」を基本コンセプトとしている。
- ✓ 支部の保険者機能を発揮するために何が必要なのか、費用対効果はどうなのかなど、**支部評議会(加入者等の代表)の意見も踏まえながら検討**することが必要となる。

奈良支部の令和3年度保険者機能強化予算の予算枠

支部医療費適正化等予算 → 10,259,000円(令和2年度と同額)

予算の算出基準:協会けんぽ全体予算8億円を、全支部一律に定額部分600万円を設定した上で、残りを加入者数で按分し加算

支部保健事業予算 → 32,657,000円(令和2年度と同額)

予算の算出基準:協会けんぽ全体予算40億円を、40歳以上の加入者数で按分

(6) 奈良支部の課題・事業に対する主なご意見

項目	ご意見など
健康診断等	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防健診の制度は、社員はもちろん、事業主にも良く分かるように周知していただきたい。 ・医療機関は土日に休んでいる事が多い。小規模・零細企業では一人抜けると仕事が進まないため、平日に会社を休んで健診を受診する事が難しく、受けさせたくてもできないというのが実態ではないか。
【令和3年度の方策(案)】	生活習慣病予防健診の3年連続未受診者の分析(県立医大の助言)を行い、 受診勧奨(個人)を実施 するとともに、 アンケートによる要因分析 をさらに進めて参りたいと考えております。
ジェネリック医薬品使用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会と連携し、分析や統計データ、地域等の使用率を共有して推進を図ることができないか。 ・ジェネリック医薬品の使用率の低い大病院への訪問と、その成果を確認する必要がある。
【令和3年度の方策(案)】	分析結果に基づき、 プレスリリース などによりタイムリーな広報と加入者に広く 現状を知っていただく ための広報を引き続き着実に実施したいと考えております。医療機関訪問については、関係機関と連携し大規模医療機関と使用割合に応じて 病院・薬局訪問を継続して実施 したいと考えております。
インセンティブ制度	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目の成績を上げるには、加入者の協力が不可欠であり、加入者がこうすれば保険料率が下がるということをしっかり知らせる必要がある。 ・加入者一人ひとりの意識を高めるスタンスで広報していく必要がある。
【令和3年度の方策(案)】	事業主や健康保険委員等に対して 新聞やプレスリリース・ホームページ・定期広報物などを活用し 、広報を実施したいと考えております。
健康経営等	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営優良法人に認定されるためには、「職場まるごと健康宣言」に登録の必要があるか。(事務局追記:新規事業のため十分に周知する必要があるのではという趣旨として掲載) ・職場まるごと健康チャレンジ(令和元年までの事業)を毎年実施しているが、事業所によってはもっと色々取り組んでみたいというニーズがあるのではないか。
【令和3年度の方策(案)】	健康宣言事業所向けのセミナー、健診・特定保健指導の利用促進、健康経営優良法人認定に向けた サポートなどを積極的に実施 したいと考えております。また、 健康宣言事業所を増やすために、広報の強化 を図りたいと考えております。

(7-1) 令和3年度支部保険者機能強化予算による事業の概要

(単位:千円)

項目		金額	備考
	関係先と連携した残薬調整運動	88	継続
	ジェネリック使用促進セミナー	325	継続
	かかりつけ医推進啓発活動	440	新規
	抗菌薬等の適正使用による医療費適正化	361	新規
企画部門経費		1, 214	
	「協会けんぽなら健康だより(納入告知書同封)」の発行	1, 100	継続
	協会けんぽのしおり(総合パンフレット)の作成	660	継続
	任意継続申請セットの作成	550	継続
	限度額適用認定申請セットの作成	495	継続
	協会けんぽからのお知らせ(集団健診案内同封チラシ)	220	継続
	インセンティブ制度周知広報	1, 540	新規
	ジェネリック医薬品等啓発広報	286	新規
紙媒体による広報経費		4, 851	

(7-2) 令和3年度支部保険者機能強化予算による事業の概要

(単位:千円)

項目		金額	備考
	ジェネリック医薬品使用促進に関するバス広告	1,100	縮小
	かかりつけ医推進啓発のための地元紙への広告掲載	880	縮小
	近鉄新大宮駅構内ジェネリック医薬品使用推進看板	242	縮小
	奈良支部イメージキャラクター「ヘルシカくん」新ポーズイラスト作成	110	継続
	ジェネリック医薬品使用促進インストリーム広告	1,650	新規
	プレスリリース等の外部発信強化	200	新規
その他の広報経費		4,192	
医療費適正化等予算		10,251	
	「職場まるごと健康宣言」普及促進ツール作成	2,591	縮小
	健康講座	2,200	強化
	健康経営普及セミナー	325	継続
	「職場まるごと健康宣言」普及促進のためのメディア広報(TV、SNS等)	1,955	新規
	保健事業改革アドバイザー契約	164	継続
コラボヘルス経費		7,235	

(7-3) 令和3年度支部保険者機能強化予算による事業の概要

(単位:千円)

項目		金額	備考
	事業者健診HbA1c追加検査費用	251	継続
	健診機関実地調査費用	12	継続
	事業者健診結果データ取得	2,034	強化
	協会主催の被扶養者向け集団健診	6,670	継続
	健診推進経費	1,871	強化
	生活習慣病予防健診未受診者への勧奨	3,691	継続
	健診受診率向上対策に向けた受診状況調査事業(パイロット事業応募)	990	新規
健診経費		15,519	
	特定保健指導中間評価時の血液検査費	396	継続
	保健指導用等雑費	1,470	継続
	保健指導推進経費	297	継続
	特定保健指導受診勧奨	440	継続
保健指導経費		2,603	
	レッドカード事業	330	継続
	糖尿病性腎症経費	4,290	強化
	その他重症化予防経費(COPD啓発及び禁煙外来受診啓発)	2,680	縮小
重症化予防経費		7,300	
保健事業予算		32,657	